

群大理工をご紹介!

主要トピック

1. 理工学部「超入門」
2. 理工学部「魅力」
3. 理工学部「入試情報」

— ここまでのおさらい : 理工学部では何を学ぶ?



理学を基盤とした工学教育の展開

- 社会の発展には、工学が必要
- 工学の発展には、理学が必要

「原理を追求する力」と「応用展開する力」を両方養う教育

これからの社会で必要とされる人材に!

群大理工 3つの特徴

理学“原理を追求する力”と工学“応用展開する力”の両方養う教育を通じて、**これからの社会で必要とされる人材**を育成！



幅広い学び

理学的センスと工学的応用力に加え、
分野にとらわれない
幅広い視野を持った理系人に。



メンター制

学生にメンター教員
(世話役・相談役)を配置し、
専門選択や履修を手厚くサポート。



実践的な教育

企業と連携した問題解決型授業・PBL教育など
社会で求められる実践力を
身につける。

1

「類」制度について

「類」とは、理工学を学ぶための“基礎となる大きな枠組み”です。

学問分野の壁にとらわれずに幅広く教育を行い、

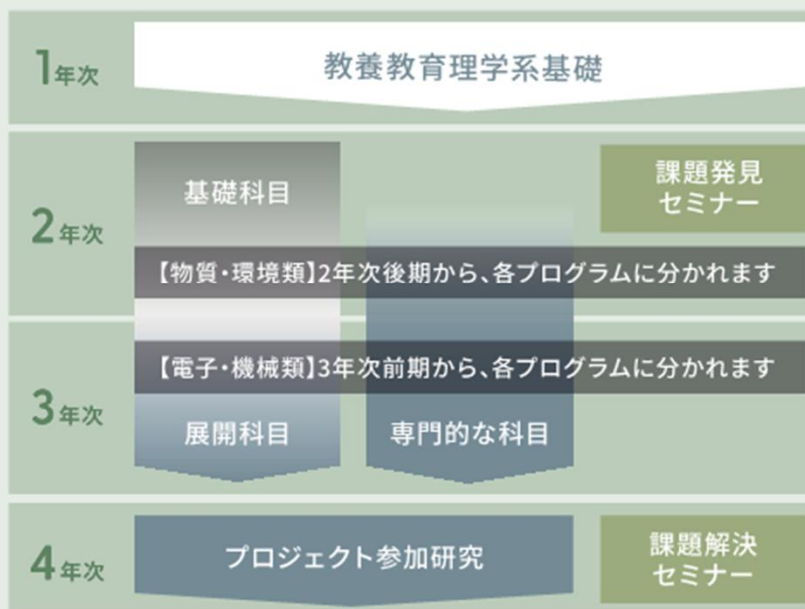
「持続可能な社会」や「高度情報社会」の基盤となるモノづくりを担う人材を育成します。

「類」制度の魅力

分野を限定しない
幅広い学びを
基礎とすることで
「応用」に強くなる

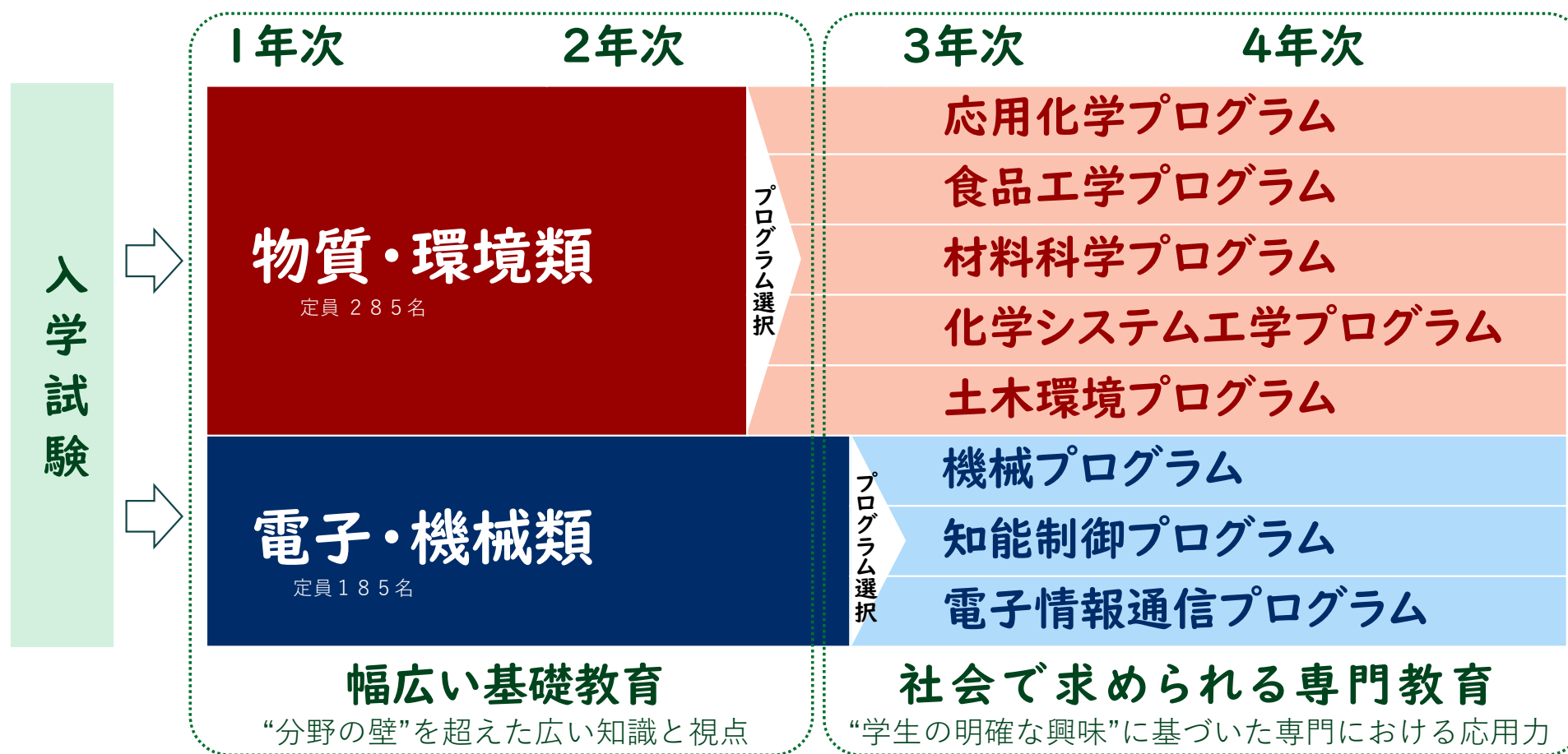
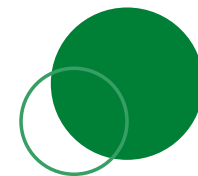
自分の興味の方向性が
より明確になり、
専門選択の
ミスマッチを抑制

4年間の幅広い学び



2021年4月からスタート

2類8プログラム制



(旧:化学・生物化学科、環境創生理工学科、知能機械システム理工学科の一部)

物質・環境類

持続可能社会を支えるための基礎となる
化学・生物・物理を融合した科学技術に
ついて、幅広く学びます。

応用化学 プログラム

物質の合成・構造・
性質に関する分野
や遺伝子、生命科
学分野を学びます。

食品工学* プログラム*

食品機能を科学的
に理解するととも
に、食品の創出に
関わる生産工学を
学びます。

材料科学* プログラム

物質科学と材料化学
を基軸として、製品
開発に関する基礎か
ら最先端の知識と技
術を幅広く学びます。

化学システム 工学 プログラム

物質・エネルギー
を無駄なくクリーン
に利用・生産する
ための知識と技術
を学びます。

土木環境* プログラム*

自然災害からの防
御や社会的・経済的
基盤の計画・整備・
維持管理のための
技術を学びます。

* 新設された専門分野

* JABEE認定プログラム
*

(旧:機械知能システム理工学科の一部、電子情報理工学科電気電子コース)

電子・機械類

Society5.0を支えるIoTやロボットなど物理・数学を基礎とした科学技術について、幅広く学べます。

機械プログラム*

日本の基幹産業である機械技術とAI・DX・GX技術を融合することで新しい情報化機械・知能化機械を創造し、その社会実装までも含む広範な学問領域について学修・研究を行います。(エネルギーシステム・次世代モビリティ・先端スマート材料・社会基盤)

知能制御プログラム*

超スマート社会を創造する電気電子・機械・情報が融合した知能化制御技術、AI・IoTによるエネルギー制御技術、システムデザイン技術、医療機器関連技術について学びます。

電子情報通信プログラム

最先端の電子機器、重粒子線などの量子ビーム技術、電子材料、医用計測技術、通信技術、IoTシステムなどのモノづくりと情報技術やAI術について学びます。

* 新設された専門分野

* JABEE認定プログラム

情報学部とのちがい

理工学部

プログラミング・AIを活用した電子機器や機械などのシステム開発。
例) 自動運転車、スマートフォン等の情報精密機器、ロボット制御、
防犯システムなど

情報を活用した
モノづくり

情報学部

プログラミング・AIそのものについての研究。
例) アプリケーション、より高度なAIの開発、アルゴリズム など

高校の教科では
数学に近い

群大理工 4つの魅力

I. 実践的な教育

- ① PBLによる課題解決力の強化
- ② 医理工GFLコースでリーダー育成
- ③ 学術交流協定校での海外研修
- ④ マイスター制度で先端機器を操る

II. 多様な大学環境

女子学生の割合

27.1%

(2026年度入学生)

III. 最先端の研究

- ① 最先端の研究センター
- ② 社会に役立てるスタートアップ企業
- ③ 未来を変える研究、キミらしく！

IV. 抜群の就職実績

就職率

99.6%

(学部卒・2025年度)

1. 実践的な教育①

問題解決型授業 Project Based learning

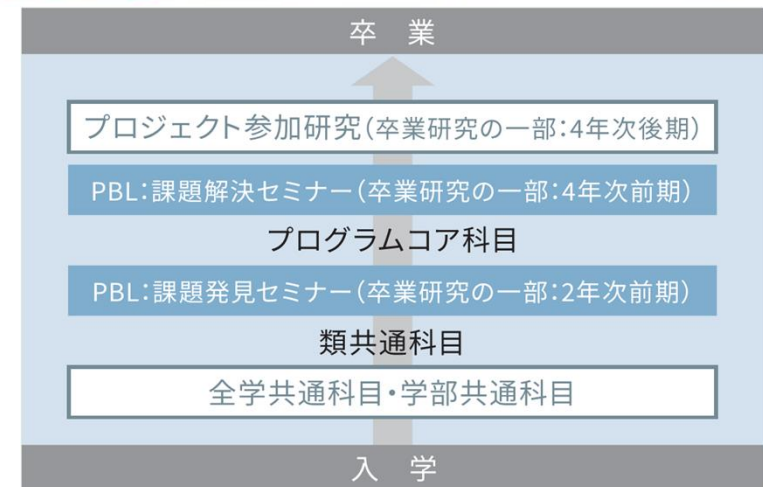
2年次：課題発見セミナー

企業見学、就労体験、体験発表会などを通じて、
実社会の活動における課題を自主的に把握することを目指します。



4年次：課題解決セミナー

プログラムや類を横断するメンバーで構成されたグループワークを実施社会で求められる「分野を超えた実践的課題解決能力」を身につけます。



学生自身で課題を発見・解決するアクティブラーニングです。

1. 実践的な教育②

医理EGFLコース

(医理EGローバルフロンティアリーダー育成コース 理工学部:18名程度)

将来、研究開発・研究職において独創的リーダーとして活躍できる人材の育成を目的に、医学部と連携して作られた特別コースです。



学校推薦型選抜に
GFL特別枠(併願)を
導入しています！

1. 実践的な教育②

GFL生の特典

特別な教育プログラム

特別英語講義・講演会などに参加できます。

他学部のGFL生との幅広い交流

医学部・共同教育学部・情報学部のGFL生との共同プログラムです。

早期卒業で早期大学院進学

GFL生特化の制度。半年早く大学院進学が可能です

GFL留学プログラムでの奨励金給付

GFL企画の留学プログラムでは、奨励金を受けられるものも。

後期授業料の免除（審査あり）

GFL生を対象とした後期授業料免除制度の特別枠があります。

1. 実践的な教育③

マイスター育成プログラム

最先端の研究を推進する多種多様な先端分析器を揃えるコアファシリティ総合センター（CoMTeCC）を利用して、2年生から分析機器を使います。

（通常、4年生か大学院で使用。）

先端分析機器を使いこなし、
研究・開発・地域貢献に活かせる人材を
育成するプログラムです！



1. 実践的な教育④

留学生数と大学・学部間協定

2025年度は理工学部・理工学府から**30名**が参加!

- ・ESIEE (フランス)
- ・大連理工大学 (中国)
- ・MARA技術大学 (マレーシア)
- ・ディーキン大学 (オーストラリア)
- ・サンディエゴ州立大学 (アメリカ) など



海外の**36**機関と大学協定、**35**機関と学部協定を結んでいます。
(2026年4月時点)

II. 多様な大学環境

女性学生の割合
27.1%

(2026年度入学生)
国立大学工学部平均値
約16%

留学生数

174名(2026年4月時点)



理工学部学生数：学部生**2096名**、大学院生**700名**(2026年度4月時点)

III. 最先端の研究①

身近な課題を扱う 最先端の研究センター

次世代モビリティ 社会実装研究センター

完全自動運転技術や低速電動コミュニティバスなどの開発と社会実装を目指しています。



食健康科学 教育センター

食品産業、農作物の6次産業化、高機能食品など食に関連した健康増進に関わる研究に取り組んでいます。

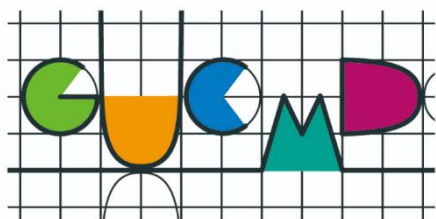


III. 最先端の研究①

ユニークな情報・材料を活かした 最先端の研究センター

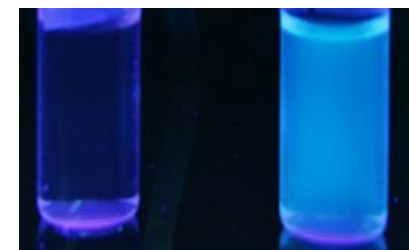
数理データ科学 研究教育センター

情報学分野の教育を展開し、その素養を持った超スマート社会 (Society 5.0) を支える人材の育成及び研究を推進します。

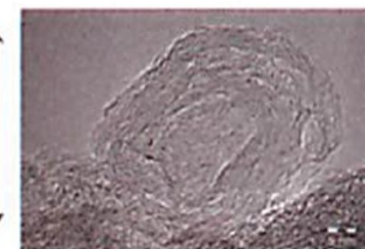


元素科学 国際教育研究センター

ケイ素と炭素を中心とした元素の特性を発展させ、新規学術分野・元素機能相関科学を創生することを目指しています。



20-50 nm



TEM image of Nanoshell

III. 最先端の研究①

理工学×医学連携による最先端の研究センター

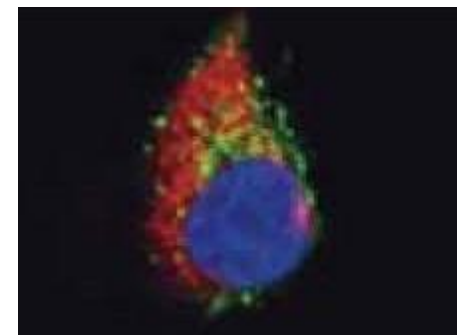
重粒子線医学 研究センター

日本で初めて大学病院に併設された施設です。高度で統合的ながん医療体制を構築するとともに、人材育成や共同研究を行っています。



生体調節研究所

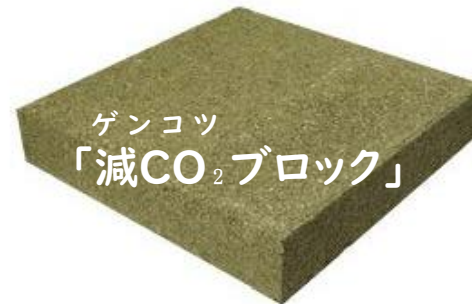
内分泌・代謝システムの研究を中心に、生体の恒常性を司る分子メカニズムの解明を目指しています。また、その破たんにより引き起こされる生活習慣病に焦点をあてて研究を推進しています。



III. 最先端の研究②

群馬大学発スタートアップ企業

群大の研究が商品に。
大気中のCO₂を削減。



群馬大学の特許を利用し、
理工学部発(株)グッドアイで
開発・商品化されました。



Gメッセ



大阪万博2025ドイツ館

群馬大学発スタートアップ企業:株式会社グッドアイ、プライム・デルタ株式会社、株式会社GUD air、株式会社先進医用画像解析センター、アルメッド株式会社、日本モビリティ株式会社、クレスール株式会社、株式会社GUD care

III. 最先端の研究③

約60以上の多彩な研究室

CLUSTER OF MATERIALS AND ENVIRONMENT

物質・環境類

化学・生物、食品、材料、環境、土木
新技術が豊かな社会を築く

物質・環境類は5プログラムから構成され、持続可能な社会を支えるための基礎となる化学・生物・物理を融合した科学技術について、幅広く学びます。物質・環境類では、このような新領域を積極的に理解し実践力を持った人材を輩出するため、化学・物理・生物を共通の基礎とし、基礎から応用につながる工学・生物化学・食品科学や、最先端社会を牽引する先端材料、CO削減・エネルギー利用に関する最先端な技術やバイオ生産プロセス、安全安心な自然環境や社会基盤、地域の環境制御など、社会・産業の発展と科学技術教育を行います。

KEY WORD 持続可能な社会

地球環境と人間が共存し、将来の世代も現在と同じような暮らしを継続できる社会のこと。

すべての教員と研究の詳細はこちらから





Pick up 研究室

材料科学プログラム
有機高分子化学研究室
関根 高平 助教

プラスチックや繊維など、多くの製品は「高分子（ポリマー）」と呼ばれる有機性材料でできています。それらの高分子も有機物から、より環境に優しく生まれかかせるための「新しい作り」を開発しています。コンピュータや生物学、薬学を組み合わせることで、分子レベルで有機物材料を合成します。学生と教員、あるいは共同研究と連携しながら、最新のテーマにチャレンジし、最先端のナノレベルの研究開発や高度な研究開発に取り組んでいます。



応用化学プログラム
有機構造化学研究室
坂井 伸一 助教
群馬県立前橋女子大学 法務

有機物分子の骨格の成り立ちや骨格内部分の電子状態や骨格の構造について研究しています。基礎から応用まで幅広い分野で化学工学、材料、食品工学など多岐にわたる分野で活躍している学生がいます。4年生から卒業論文も追加し、卒業後は就職活動と並行して研究も行うことができます。



食品工学プログラム
糖質研究室
渡辺 清之 助教
群馬県立前橋女子大学 法務

食品に由来する高分子材料の調製開発を主とするのの研究を行っています。食品だけでなく化学工学、材料、食品工学など多岐にわたる分野で活躍している学生がいます。4年生から卒業論文も追加し、卒業後は就職活動と並行して研究も行うことができます。



材料科学プログラム
有機高分子化学研究室
松川 誠一 助教
群馬県立前橋女子大学 法務

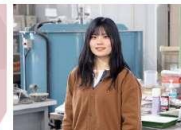
有機物の構造や性質を調べる分子の骨格を研究しています。基礎から応用まで幅広い分野で化学工学、材料、食品工学など多岐にわたる分野で活躍している学生がいます。4年生から卒業論文も追加し、卒業後は就職活動と並行して研究も行うことができます。



化学システム工学プログラム
中川-橋本研究室
藤原 孝樹 助教
群馬県立前橋女子大学 法務

中川研究室は主に環境技術に関する研究、橋本研究室は応用化学工学に関する研究を行っています。両研究室とも幅広い分野で化学工学、材料、食品工学など多岐にわたる分野で活躍している学生がいます。4年生から卒業論文も追加し、卒業後は就職活動と並行して研究も行うことができます。

在学生が語る！
私の研究室
MY LABORATORY



土木環境プログラム
増盛工学研究室
神沢 明彦 助教
群馬県立前橋女子大学 法務

工学に特化する材料の最先端研究の社会的貢献・実用を目的としています。材料の最先端研究の社会的貢献・実用を目的としています。材料の最先端研究の社会的貢献・実用を目的としています。



機械プログラム
先端加工技術研究室
橋本 伸一 助教
群馬県立前橋女子大学 法務

自動車や航空機など、最先端の加工技術に関する研究を行っています。基礎から応用まで幅広い分野で化学工学、材料、食品工学など多岐にわたる分野で活躍している学生がいます。4年生から卒業論文も追加し、卒業後は就職活動と並行して研究も行うことができます。



知能制御プログラム
システム制御研究室
井田 大樹 助教
群馬県立前橋女子大学 法務

自動車や航空機など、最先端の加工技術に関する研究を行っています。基礎から応用まで幅広い分野で化学工学、材料、食品工学など多岐にわたる分野で活躍している学生がいます。4年生から卒業論文も追加し、卒業後は就職活動と並行して研究も行うことができます。



電子情報通信プログラム
電研研究室
金子 由美子 助教
群馬県立前橋女子大学 法務

無線通信やネットワークに関する研究を行っています。基礎から応用まで幅広い分野で化学工学、材料、食品工学など多岐にわたる分野で活躍している学生がいます。4年生から卒業論文も追加し、卒業後は就職活動と並行して研究も行うことができます。

CLUSTER OF ELECTRONICS AND MECHANICAL ENGINEERING

電子・機械類

電気・電子、機械、情報、制御
先進技術で未来を設計する

電子・機械類は3プログラムから構成され、Society5.0を支えるモビリティ、IoTやロボットの、物理・数学を基礎とした科学技術について幅広く学びます。電子・機械類では、確かな理解と実践力を持った人材を輩出するため、物理・数学・化学を共通の基礎とし、電気電子工学の基礎となる電気工学・電子回路・電気回路や、機械工学の基礎となる機械工学・材料力学・流体力学・熱力学を学びます。それらに加えて、制御工学・計測技術・画像計測・情報工学などの科学技術教育を行います。

KEY WORD Society5.0

「サイバー空間とフィジカル空間を高次元で融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」を定義されます。その実現は、「持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保することによって」人々の生活の質を向上させ（well-being）を実現できる社会として図られます。（参考：内閣府ホームページ）

すべての教員と研究の詳細はこちらから





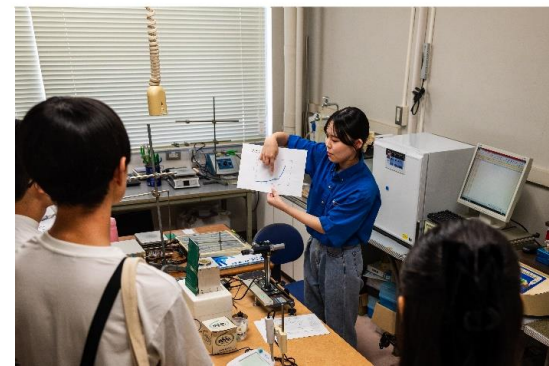
Pick up 研究室

知能制御プログラム
Nano・Bio Lab
佐藤 直樹 助教

ナノ機械工学を用いて、マイクロメートルサイズの微小構造（100nm程度の大きさ）を電子デバイスに組み込んで研究しています。大学いながら最先端加工設備を備えています。また、機械、ソフトウェア、ロボティクスやデータサイエンスといった幅広い分野にも取り組んでいます。国際・国内学生参加のほか、研究費や企業、パートナー機関の支援も受けながら、最先端のナノレベルの研究開発に取り組んでいます。

どんな研究室があるのかもっと知りたい方は・・・

工学部オープンキャンパスに参加！



2026年度は
9/5土・9/6日
開催！
詳細は理工HPへ

教員・研究紹介サイト



興味のあるキーワードから研究室や研究内容を探せます！
進路探究にもご活用ください。

III. 最先端の研究③

未来を変える 研究を キミらしく!

最先端研究活動を
手厚くサポート!

教員一人あたりの
研究指導学生数
約3.1名

学生の学会受賞数
67件

企業との共同研究数142件
(2025年度)

卒業生メッセージ

未来をつくる テクノロジーと共に歩む



群馬県 県土整備部 伊勢崎土木事務所
企画調査係 副主幹
大垣 水晶さん (2013年3月卒)
工学部 建設工学科
入学前1年 建築設計 社会福祉デザイン1年専攻

専門職としての基礎をつけた 学部と院での充実した学び

■ 群大理工を選んだ理由

もともと建築分野に興味があり、大学受験にあたりいるいるな大学を調べているうちに、建築の中でも土木の分野も面白いなと思いはじめました。群馬大学工学部建設工学科(当時)は、土木主体でありつつも建築設計の授業もあり、将来の資格を考えたときにも両方経験できるのはメリットがあると考えました。キャンパスの都会過ぎない立地も好ましく思いました。

■ 先生や仲間にも恵まれた大学生活

大学は、先生方と学生の距離が適度に近く、授業や進路のことなど気軽に相談しやすい環境でした。また、学割が少人数だったためみんなと仲が良く、実験等も楽しく行えました。自分たちで設計した配合でコンクリートを作製して強度を測る実験など、今でも印象に残っている実験や実習がたくさんあります。研究室でのフィールドワークも貴重な経験でした。

■ 県職員として土木の仕事に携わる

修士課程修了後、群馬県の職員となり、現在は伊勢崎土木事務所に所属しています。県庁からの通知や調査依頼を市町村や土木事務所内へ展開し、取りまとめを行うほか、道路や橋の維持管理、大雪や雹といった気象災害の対応を行っています。たとえ小さな仕事であっても成果が目に見えるため、達成感を感じられ、日々意欲をもって取り組んでいます。

■ 仕事も私生活も楽しんでいきたい

入学後に結婚・出産し、現在は3人の子どもの母親でもあります。群馬県職員として、産休・育休制度や職場のサポートが整っている環境で前向きに仕事と向き合えることがありがたく思っています。プライベートではアウトドアアクティビティが大好きなのですが、一歳下の子どもが2歳になったので、そろそろキャンプでの家族キャンプに挑戦したいと思っています。

群大理工でキャンパスライフを送り、基礎となる力をつけたのち、社会に出てさらにスキルを磨き、活躍している先輩たち。どんな学生時代を過ごしたのか、いま何にチャレンジしているのかなどについて、インタビューしました。

大学で磨いたスキルを生かして シェア世界を目指す

■ 群大理工を選んだ理由

きっかけは高校の先生から勧められたことでしたが、その後、群馬大学理工学部について調べると、内蔵機関に属する研究を行っている研究室があることを知りました。当時、私は将来的に自動車業界で働きたいと考えていたこともあり、自動車関連に関する知識とスキルが得られる学部として、本格的に群馬大学理工学部を目指すようになりました。

■ 学部も学生生活も充実した6年間

学部へ入学後の6年間を通して、学業や研究に向き合う時間、部活動で汗を流す時間、友人と楽しむ時間とそれぞれメリハリをつけて過ごし、充実した毎日が送れました。当時の授業で印象に残っているのは、手福さの裂目の授業です。車の意味や役割を考えつつ裂いた研鑽から身につけた知識が、CADで図面作成する現在も、仕事の糧を支えています。

■ 伝える技術も磨いた研究室時代

研究室時代には、専門スキルはもちろん、今につながる汎用的で重要な技術も身につけました。私が所属していた研究室では教育を単なる履修があり、研究を進める中で年々自分の考えや主張を第三者に適切に伝えるための資料作成のコツや、文章構成の方法も重視していました。当時磨いたこれらのスキルは決り、仕事の中で非常に役立っています。

■ 新たな装置を開発して世界に

現在は、次世代半導体製造装置を構成するユニットの設計開発を担当。自分の関わる装置がこれからの半導体デバイスの進化を支えるという実感があり、日々やりがいを感じています。今チャレンジしていることは、これまでの弊社装置にはなかった性能を持つ、全く新しい装置の開発です。それを成功させ、競合からシェアを奪取し、世界一になることが将来の夢です。



東京エレクトロン宮城株式会社
プラズマソリューション技術開発部 メカエンジニア
関口 天さん (2023年3月卒)
理工学部 機械応用システム工学科
入学前1年 知能製造設備工1年専攻プログラム

IV. 抜群の就職実績

2025年度卒業生の就職率

99.6%

物質・環境類

アサヒ飲料、出光興産、小田急電鉄、オリンパス、鹿島建設、関西ペイント、キオクシア、JR東日本、JX金属、正田醤油、信越化学工業、新菱冷熱工業、SUBARU、ゼブラ、ダイキン工業、第一三共、大成建設、太平洋セメント、田中貴金属グループ、テーブルマーク、テルモ、デンソー、東急建設、東京電力、戸田建設、TOPPAN、トヨタ自動車、日清紡HD、日本HP、日本ミシュランタイヤ、NEXCO東日本、ブリヂストン、本田技研工業、三菱電機、村田製作所、ルネサス エレクトロニクス、レゾナック、国土交通省、経済産業省、群馬県、東京都、横浜市 ほか

化学、食品、化粧品、材料、医療、製薬、エンジニアリング、精密機器、エネルギー、建設、防災、環境、鉄道、道路、公務員などの分野に就職しています。

電子・機械類

IHIエアロスペース・エンジニアリング、Astemo、オリンパス、カワサキモータース、川崎重工業、キオクシアエンジニアリング、キャノン、クボタ、コナミグループ、小松製作所、JR東日本、スズキ、SUBARU、住友ゴム工業、セイコーエプソン、ソフトバンク、ダイキン工業、ダイハツ工業、タカノフーズ、テルモ、デンソー、東京電力、東芝、トヨタ自動車、ニコン、日産自動車、日本IBM、パナソニック、バンダイ、日立製作所、日野自動車、富士電機、ブラザー工業、ボッシュ、本田技研工業、マキタ、三菱電機、ルネサスエレクトロニクス、レゾナック、国土交通省、群馬県 ほか

自動車、輸送機器、一般機械、エネルギー、医療機器、精密機器、精密加工、電子部品、電気機器、情報通信システムなどの分野に就職しています。

主な就職先(2025年度 大学院博士前期課程修了者の就職先を含む)

2026年度入試実施状況

2027年度入試については「2027年度 入学者選抜に関する要項」ならびに各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認ください。

	学校推薦型選抜					一般選抜(前期日程)					一般選抜(後期日程)				
	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	選抜方法	募集人員	志願者数	志願倍率	共通テスト	個別学力検査等	募集人員	志願者数	志願倍率	共通テスト	個別学力検査等
物質・環境類	90	148	1.6	103	面接 (口頭試問を含む)	162	386	2.4	国語 地歴・公民1科目 数学2科目 理科2科目 英語 情報 【6教科8科目】	数学(「I, II, A, B, C」もしくは「I, II, III, A, B, C」のいずれかを選択) 理科(「物基・物」、「化基・化」、「生基・生」から1つ選択) 英語	28	243	8.7	国語 地歴・公民1科目 数学2科目 理科2科目 英語 情報 【6教科8科目】	面接
電子・機械類	55	77	1.4	57		105	176	1.7		数学(I,II,III,A,B,C) 理科(「物基・物」、「化基・化」から1つ選択) 英語	18	162	9.0		



- ポイント
- 推薦は全体の約3割 (国立大学平均12.3%)
 - 3回受験できる (推薦⇒前期⇒後期)
 - 前期は、東京試験場でも実施

2027年度入試スケジュール

2027年度入試については「2027年度 入学者選抜に関する要項」ならびに各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認ください。

●2027年度入試スケジュール

学校推薦型選抜			
出願期間	試験日	合格者発表	入学手続締切日
2026年11月1日（日）～11月6日（金）	2026年11月17日（火）	2026年12月7日（月）	2026年12月15日（火）
一般選抜（前期日程）			
出願期間	試験日	合格者発表	入学手続締切日
2027年1月25日（月）～2月3日（水）	2027年2月25日（木）	2027年3月9日（火）	2027年3月15日（月）
一般選抜（後期日程）			
出願期間	試験日	合格者発表	入学手続締切日
2027年1月25日（月）～2月3日（水）	2027年3月12日（金）	2027年3月20日（土）	2027年3月27日（土）



← 詳細は受験生応援サイト「入試情報」をチェック



群大's SNS!

理工学部の情報チェック！

理工学部X



大学の雰囲気を気ままにお届け

群馬大学Instagram



サークル・研究室紹介やおもしろ動画も？！

群馬大学YouTube

